

## あなたと一緒に守りたい 山中城跡～ 日本一美しい山城を目指して ～

アナ： 「市長が語る 2020 三島」第 22 回の今日は、「あなたと一緒に守りたい山中城跡（やまなかじょうあと）～ 日本一美しい山城を目指して ～」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 最近はお城がブームということもあり、テレビや新聞・雑誌で山中城跡もよく紹介されていますね。まず山中城跡について、簡単に教えていただけますか。

市長： 山中城跡（やまなかじょうあと）は、今から約 450 年前の戦国時代に、小田原に本拠を置く北条氏によりつくられた山城で、三島市が復元整備をし、史跡公園として一般開放しています。

アナ： 現在山中城跡には、どのくらいの人が訪れているのですか。

市長： 平成 20 年代の初めの頃は 3 万人台前半でしたが、昨年は 6 万人近い人が訪れています。トリップアドバイザーという旅行に関する口コミサイトがありますが、「旅好きが選ぶ日本の城ランキング 2018」では、山中城跡は第 15 位に選ばれました。石を使わず土と堀で構成された山城の美しさが、全国の城を訪れた方々に高く評価され、大変うれしく思います。

アナ： 多くの人を引き付けている山中城跡の魅力は何でしょうか。

市長： 一番の人気スポットは障子堀です。この障子堀を間近に見学することで、戦国時代の城づくりの技術をダイナミックに実感できます。

また、空気が澄んだ時に障子堀越しに見る富士山や、三島・沼津の市街地から遠く駿河湾の海岸線まで見渡せる景観は一見の価値ありです。

アナ： 今日のタイトルは「あなたと一緒に守りたい山中城跡」ですが、具体的に私達が行えることはどのようなことでしょうか。

市長： 山中城跡を美しく安全に維持管理するためには、年間約 1,500 万円の経費が必要となります。季節の花や芝生の手入れ、景観を妨げる樹木の伐採、遊歩道の管理など、見学者の皆さんに、安全に楽しんでもらうための経費です。

三島市では一昨年からガバメント クラウドファンディングを行い、職員と一緒に山中城跡を守っていただける方からの支援をお願いしております。

大変ありがたいことに、昨年は北海道から福岡県までの 198 人の支援者が、182 万 3,600 円をご寄附くださいました。

アナ： 寄附受付の期間や申込方法を教えてください。また、返礼品など寄附者に対する特典などはありますか。

市長： 申込方法は、現在三島市のホームページに掲載されている申込書に記入し、三島市文化財課窓口を持参、または Fax で申込む方法があります。もうひとつは 10 月 1 日から 12 月 30 日までの 3 ヶ月間に、インターネット上のふるさとチョイス

のサイトから申込む方法です。

返礼品はありませんが、昨年は記念品として、寄附者のお名前が入った「のぼり旗」をつくり、城内の各所に立てさせていただきました。のぼり旗を立てると、より戦国時代のお城の雰囲気が出て、一緒に記念撮影をするなど来城者（らいじょうしゃ）には好評でした。

寄附金額の設定ですが、今年はコロナウイルスの収束を願って、コロナゼロということで、一口 5,670 円（コロナゼロ円）の金額の御寄附をいただき、岱崎出丸（だいさきでまる）を中心に寄付者のお名前入りの「のぼり旗」を立てることを考えています。

なお、昨年に引き続き寄附してくださった方には、今年も「ありがとう」という感謝の気持ちを込めて、今年は一円 3,900 円、サンキュウの金額を寄附していただけますと、昨年既に作成済みののぼり旗を今年も立てさせていただきます。

その他、普段は入れない、来城者に一番人気の障子堀侵入体験など、山中城跡を楽しむイベントを来年3月に開催し、寄附者を御招待することを考えています。

アナ： 自分の名前の入ったのぼり旗を立て、普段は入れない障子堀に入って記念撮影をする。インスタ映えしますね。

市長： 山中城跡は昨年10月の台風19号により、堀や通路・池など8ヶ所が被害を受けました。この被害については文化庁の補助を受け、今年から3ヶ年計画で復旧する予定ですが、三島市も相応の費用を負担します。

今日お話ししたガバメントクラウドファンディングは今年で3年目で、三島市民の皆さま、三島にご縁のある皆さま、お城好きの皆さまが山中城跡を身近に感じて、文化財やふるさとを大切にしようと思うキッカケになればと思い企画しました。

山中城跡は、すでに日本一美しい山城だと自負していますが、その状態を今後とも維持するために、皆さまと一緒に山中城跡を守っていきたいと思います。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。